

オプトアウト様式

研究課題名	頻拍中の心房連続刺激を用いた上室頻拍の機序解明の検討
研究実施機関名および研究責任者	さいたま赤十字病院 循環器内科部長 稲葉 理
研究代表施設 および代表研究者	日本大学医学部内科系循環器内科学分野 (附属板橋病院循環器内科) 准教授 (不整脈センター長) 永嶋 孝一
研究期間	機関の長の許可日～西暦 2028 年 12 月 31 日
研究の目的と意義	SVTの診断では、AOPがカテーテル検査中に広く用いられているが、ペーシング中に頻拍が停止してしまうと、既存の診断基準を適用できないという限界がある。本研究はAOP中に頻拍が停止した場合であっても、診断的価値を持ち得る所見を明らかにすることを目的とする。これらの所見を検証することで、SVTの鑑別診断に資する新たな知見が得られ、AOPで頻拍が停止してしまう症例においても適切なアブレーション戦略の選択や合併症の回避に寄与することが期待される。
本研究の対象となる方	発作性上室頻拍に対してカテーテルアブレーションを施行した者で、情報公開ポスターを読み、十分な理解の上、研究対象者本人の自由意思により参加拒否をしなかった者
提供していただく情報	年齢、性別、身長、体重、心臓電気生理学的検査の際の各種電位所見
研究内容	介入・侵襲を伴わない後ろ向き観察研究 多施設共同前向き研究
個人情報の取り扱い	研究実施に係る情報を取り扱う際には予め患者の個人情報とは無関係な番号を付して情報を管理する。患者の個人情報が院外へ漏れないように十分配慮する。
問い合わせ先 (拒否等の受付窓口)	【研究担当者】 所属：さいたま赤十字病院 循環器内科部長 氏名：稲葉 理 住所：埼玉県さいたま市中央区新都心 1 番地 5 電話：0570-048-852